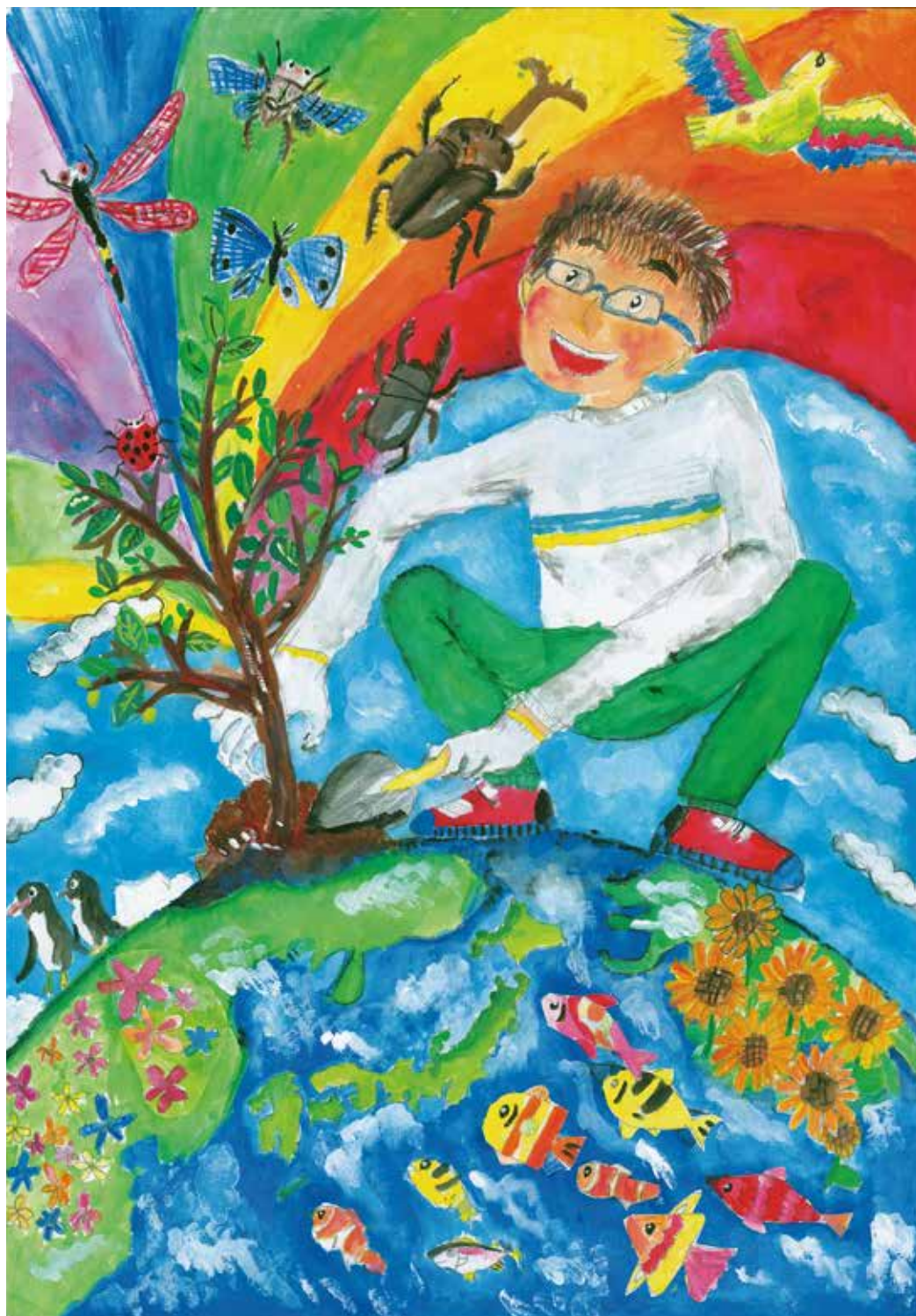


令和2年度

国土緑化運動ポスター原画コンクール
入賞作品集



主催：(公社)千葉県緑化推進委員会
後援：千葉県 千葉県教育委員会 (株)千葉日報社
協賛：千葉信用金庫



千葉県知事賞

2学年 藤井 一鷹

◇空想の鳥に乗って男の子はどこに行くのかな。すてきな色の羽から出す水で木を育てるのでしょうね。花を咲かせて飛ぶ小さな鳥もとてもかわいらしいです。発想が豊かでストーリー性を感じます。元気を与えてくれる作品です。



千葉県教育長賞

1学年 加藤 柊

◇カブトムシにつかまり、空からたくさんのタネをまく姿がとても楽しそうです。緑がどんどん広がります。柊さんは昆虫が大好きなのですね。細かいところまで観察しながら描いているのがわかります。



千葉日報社賞

3学年 福島 咲希

◇仲良くおしゃべりをしながら植樹している様子をトンボがじっと見えています。二人の間にいるカエルさんも植樹してくれているのかな。どんな木に育つのでしょうか。背景の葉っぱのスタンプがとても効果的に使われています。



委員会理事長賞

2学年 鈴木 大和

◇カブトムシにまたがった男の子は、とても楽しそう。たくさんの昆虫たちが住む森の中を、笑顔で浮かべ、さっそうと通り抜けて行きます。真正面から捉えた難しい構図ですが細かな部分まできちんと描き込んでるのは立派です。

はじめに

国土緑化運動ポスター原画コンクールに、毎年たくさんの小中学校の皆さんに御応募いただき、ありがとうございます。

このコンクールは、公益社団法人 国土緑化推進機構が行う「国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に呼応した千葉県内のコンクールで、県民の皆様から寄せられた「緑の(羽根)募金」を活用し、千葉県緑化推進委員会が実施しているものです。

令和2年度は、県内302の小学校から5,808点、80の中学校から858点、合計6,666点の応募をいただきました。

この作品集は、数多くの応募の中から入賞されたすばらしい作品を大勢の方にご覧いただき、「みどり(森林)」への理解の輪が一層広がることを願い、作成したものです。

今年は誰も想像し得ない一年となりました。4月には新型コロナウイルス感染症の拡大が危惧され、緊急事態宣言が発令されました。いつもなら新学期がスタートしている学校も休校となり、社会活動が制限され、様々なイベントや事業の中止や延期が相次ぎました。

当委員会でも、緑の募金運動をはじめ、実施予定のイベントや事業をどうすべきか、先の見えない不安の中で検討していました。そんなとき、学校や保護者の皆様からこの緑化運動ポスター原画コンクールの実施について、たくさんのお問い合わせをいただきました。その中から聞こえてきたコンクールを楽しみにしてくださっている皆さんの声に、私たちは強く励まされました。

フタを開けてみると、こうした状況下では信じられないようなたくさんの作品が寄せられました。コロナウイルスを吹き飛ばすような明るく元気いっぱいの作品、昨年秋の台風や豪雨で被災した森林やそこに生きる生き物たちが蘇ることを願う作品、地球温暖化防止など森林の持つ重要なはたらきを表現した作品などなど…。コロナ禍の大変な状況のなかでも、皆さんが「みどり」のことを忘れず、真剣に考えてくれていたことは大変うれしく、そして頼もしいと感じました。

今、私たちは、気候変動をはじめとする地球環境問題、クリーンエネルギーへの転換、コロナ禍での新しい生活様式と社会活動の両立など、ふと思ひ浮かぶだけでもたくさんの課題に直面しています。

こうした課題解決のためのアプローチは様々ですが、ぜひ視点を「みどり(森林)」に向けてみてください。みどりにはどんな力やはたらきがあったのでしょうか。ほら、ヒントが見えてきませんか。皆さんが絵に表現してくれたようなすばらしい発想力によって、みどりの力を様々な場面で取り込み、すべての人々にとってより良い未来、持続可能な社会を構築してほしいと願っています。

結びに、コンクールの御後援をいただいた千葉県、千葉県教育委員会、(株)千葉日報社、特別な御協賛をいただいた千葉信用金庫の皆様をはじめ、御指導、御協力をいただいた各市町村、各市町村教育委員会、学校関係者並びに保護者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、このコンクールに参加された皆さんの可能性に大いに期待をし、益々の御活躍を心からお祈り申し上げます。

令和2年12月

公益社団法人

千葉県緑化推進委員会 理事長 森 英介



審査を終えて

●総評

未曾有のコロナ禍に揺れた2020年。延期や中止を判断するコンクールもある中で、当コンクールが例年どおりに開催されたことは誠に幸いでした。

応募点数は昨年度比で中学生の減少が目立ったものの、小学生では増加しています。毎回、圧倒的なレベルの高さに驚かされますが、本年度も期待に違わず審査員をうならせる力作揃いとなりました。

例年以上に時間をかけ、一点一点じっくりと作品に向き合い、審査を行わせていただきました。

選考にあたりましては、植樹・育樹活動をはじめ、緑豊かな自然や地球に対する夢や希望、緑と人間や動物たちとのふれ合いや関わり合い、街や学校の緑づくりなど、緑と自然・環境の大切さを表現できているか等を、審査ポイントとしています。緑への思いが、見る側にストレートに伝わってくる作品が望ましいと考えています。

小学校低学年では、低学年だからこそできる表現方法を大切にしてい、自分を主人公に、森の動物や花・虫たちと楽しく一緒に遊ぶ様子がダイナミックに描かれていること、小学校高学年では、テーマをよく理解し、自然と自分との関わりがストーリー性を持って描かれていること、構図や色使いにも工夫が感じられること、中学生では、テーマに沿い、手数をかけて丁寧に仕上げていること、人間と自然との関わり合いの中にメッセージや社会性が込められていること、高い技術力を持っていること、等を基準に審査しています。

コロナ禍での作品制作は、従来と違う困難があったと思います。不安で不自由な時代であるからこそ想像力を膨らませ、人間も地球上に住む一つの生命体にすぎないと認識し、自然や緑との付き合い方を考え、学び、明るい未来へと繋いでいって欲しいと願っています。

●小学校・低学年の部／評

コロナ禍により家庭で過ごす時間が多かったからでしょう。写実的なものよりも、低学年らしい空想力を膨らませて描いた作品がた

くさんありました。身近な花や昆虫、鳥などをモチーフに夢いっぱいの楽しいストーリーが次々と広がっていきます。自分自身が物語の主人公となり、夢の世界の中で様々な生き物たちと交わす会話が聞こえてくるようです。

クレヨンを中心に絵の具や色鉛筆の組み合わせが効果的に使われています。スタンプングやデカルコマニー、スパッタリングなどの技法も作品に彩りを添えています。

●小学校・高学年の部／評

外出制限のためか、低学年同様、想像の世界を描いた作品が多数ありました。学年が進むにつれ、身近な場所での自然との触れ合いから地球規模の壮大な世界へと目を向け始めていくのを感じます。楽しく夢のように過ごす日々だけを描くのではなく、未来を見据え、独自の世界観が確立されていきます。自然への畏敬の念や環境問題への恐怖感などメッセージ性の高い作品も見受けられました。

葉や幹を多様な色使いで表現し、見せ方に工夫を凝らしています。どのように場面を切り抜けばより効果的に見えるのか計算して描くことが、いっそう魅力的な作品作りへと繋がっているようです。

●中学校の部／評

圧倒的な画力を感じます。限られた制作時間で、自然と人間、環境問題、地球に生きる人間の役割や存在意義等々、自分の思いを真っすぐに画面上に表現できたのは立派です。応募点数こそ昨年の半数となりましたが、コロナ禍での応募は、伝えたい熱い思いがあったからこそだと思います。次世代を担う若者からのメッセージを、大人はきちんと受け止めなければなりません。

SNSで様々な情報を簡単に入手できる昨今、本当に描きたいテーマを掴み、ぶれることなく最後まで描き通すことは重要です。情報に惑わされることなく、自分を信じ個性溢れる作品を生み出して欲しいと願っています。

千葉県教育庁教育振興部学習指導課 指導主事

都築 花代

千葉県教育庁南房総教育事務所

指導主事

福本 千里



特別賞

小学校 高学年の部



千葉県知事賞

4学年 田中 里歩

◇ブランコで風を切る音が聞こえてくるようです。森と親しむ様子が伝わってきます。木の枝や幹、ツタの葉の一枚一枚までとても丁寧に描かれています。色の使い方にも統一感がありセンスのよさが光ります。



千葉県教育長賞

6学年 小林 正知

◇優しい表情を浮かべた男の子から作者の人柄が伝わってくるようです。植樹した木を取り囲むように描かれた虫たちや鳥、水の中の魚たちまで全て生き生きと生命力に溢れています。虹がとてもよいアクセントになっていますね。



千葉日報社賞

5学年 大野 綺子

◇街にもたくさんの緑を植え、人間と自然とが混じり合って生活している様子がよくわかります。真ん中にある女の子は何を指差しているのかな。ペンを使った縁取りやぼかしがマジカルな世界を作り出しています。



委員会理事長賞

6学年 田中 杏奈

◇空から森を見下ろすとこんなに素敵な世界が広がっているのですね。木々を超えて飛ぶ二羽の鳥のピンクのラインが緑に映え、目を奪われます。人物をあえて小さめに描いた構図や色使いに作者独自の世界観が感じられます。



千葉県知事賞

2学年 齊藤 美輝

◇中央の球体は、地球ではなく生命全体を象徴しているのでしょうか。鼓動を打つ生命体を緑が包み込んでいます。人間の指先から生み出されている緑は、自然を守るのも壊すのも人間次第ということを表現しているかのようです。



千葉県教育長賞

3学年 中津井 和夏

◇薄暗い森の中に漂う土の匂いやひんやりとした空気を感じます。木々の足元を流れる川の水も見事に表現されていますね。左右対称ながら倒木がうまくバランスを取っています。リアリティあふれる神秘的な雰囲気作品です。



千葉日報社賞

1学年 朝比奈 楓

◇突き抜けたような解放感に溢れた作品です。月の光に照らされ少女の足元に咲く印象的な花は、月下美人でしょうか。夜明け前の微妙な時間帯の雰囲気をうまく表現しています。木の描写や陰影のつけ方に技術力を感じます。



委員会理事長賞

2学年 岡田 奈桜

◇絡み付くように地球を支える枝葉の表現に力強さを感じます。モチーフを際立たせるための白枠や黒枠、線の強弱のつけ方のセンスが抜群です。自然と地球との関係を深く考えさせられる作品です。



1学年 沖山 隼也



1学年 石井 杏佳



1学年 根本 大馳



2学年 中村 歩夢



2学年 古田 紗菜



3学年 尾形 遥斗



3学年 花崎 茉子



3学年 関 和可菜





4学年 佐藤 夢香



4学年 鵜澤 里彩



4学年 平野 丈翔



5学年 川嶋 宗佑



5学年 小枝 美穂子



5学年 柴田 晏菜



6学年 田久保 玲皇



6学年 辻田 さとみ





1学年 小池 悠月



1学年 渡部 莉奈



1学年 岩澤 慶史郎



2学年 寒河江 美晴



2学年 山本 蒼



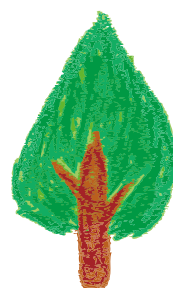
3学年 嶋崎 早紗



3学年 川崎 瑚央



3学年 三沢 彩音





入

選



1学年 加名生 じゅん



1学年 中山 あさひ



1学年 行木 詩織



1学年 小澤 大和



2学年 池田 百茉莉



2学年 石橋 馨



2学年 佐藤 真桜



2学年 松尾 名那子



3学年 菅 琉秀朱



3学年 中村 ねね



3学年 田村 由紀



3学年 松尾 春奈

小学校 高学年の部



4学年 岡崎 直人



4学年 阿部 美詩



4学年 馬場 弥月



4学年 東山 幸太郎



5学年 村井 拓真



5学年 関口 宗佑



5学年 千崎 奏汰



5学年 木内 美穂



6学年 福嶋 翠葉



6学年 松本 紗季



6学年 栗原 史佳



6学年 依田 真奈

中学校の部



1学年 松浦 日茉莉



1学年 三原 英侍



1学年 金重 璃子



入

選



1学年 青野 桐子



2学年 前田 なな



2学年 松永 果夏



2学年 益田 千聖



2学年 野澤 朱莉



3学年 岡田 鳳花



3学年 齋藤 優真



3学年 増田 希実



3学年 雨宮 史夏

小学校 低学年の部



1学年 佐藤 有

小学校 高学年の部



4学年 永井 文人

中学校の部



3学年 藤田 真緒

千葉信用金庫は

「国土緑化運動ポスター原画コンクール」
を応援しています。

また全店で「こども110番の店」の
活動を行っています。



こども110番はこのステッカーが目印です。



令和2年度 国土緑化運動ポスター原画コンクール・入賞者

★ 特別賞 ★

小学校 低学年の部	小学校 高学年の部	中学校の部
	千葉県知事賞	
2年 藤井 一鷹	4年 田中 里歩	2年 齊藤 美輝
	千葉県教育長賞	
1年 加藤 柊	6年 小林 正知	3年 中津井和夏
	千葉日報社賞	
3年 福島 咲希	5年 大野 綺子	1年 朝比奈 楓
	委員会理事長賞	
2年 鈴木 大和	6年 田中 杏奈	2年 岡田 奈桜

★ 特 選 ★

小学校 低学年の部	小学校 高学年の部	中学校の部
1年 沖山 隼也	4年 佐藤 夢香	1年 小池 悠月
1年 石井 杏佳	4年 鶴澤 里彩	1年 渡部 莉奈
1年 根本 大馳	4年 平野 丈翔	1年 岩澤慶史郎
2年 中村 歩夢	5年 川嶋 宗佑	2年 寒河江美晴
2年 古田 紗菜	5年 小枝美穂子	2年 山本 蒼
3年 尾形 遥斗	5年 柴田 晏菜	3年 嶋崎 早紗
3年 花崎 茉莉	6年 田久保玲皇	3年 川崎 瑚央
3年 関 和可菜	6年 辻田さとみ	3年 三沢 彩音

★ 入 選 ★

小学校 低学年の部	小学校 高学年の部	中学校の部
1年 加名生じゅん	4年 岡崎 直人	1年 松浦日茉莉
1年 中山あさひ	4年 阿部 美詩	1年 三原 英侍
1年 行木 詩織	4年 馬場 弥月	1年 金重 璃子
1年 小澤 大和	4年 東山幸太郎	1年 青野 桐子
2年 池田百茉莉	5年 村井 拓真	2年 前田 なな
2年 石橋 馨	5年 関口 宗佑	2年 松永 果夏
2年 佐藤 真桜	5年 千崎 奏汰	2年 益田 千聖
2年 松尾名那子	5年 木内 美穂	2年 野澤 朱莉
3年 菅 琉秀朱	6年 福嶋 翠葉	3年 岡田 鳳花
3年 中村 ねね	6年 松本 紗季	3年 齋藤 優真
3年 田村 由紀	6年 栗原 史佳	3年 増田 希実
3年 松尾 春奈	6年 依田 真奈	3年 雨宮 史夏

★ 千葉信用金庫協賛賞 ★

小学校 低学年の部	小学校 高学年の部	中学校の部
1年 佐藤 有	4年 永井 文人	3年 藤田 真緒

★ 佳 作 ★

1 学 年

來花舞里翔我利菜
美咲佳空瑠祐陽
藤川條保波 池出
工西一久津中菊小

花矢伍れ櫻築奈尋奈結香名
愛修勇み 歩柚乃真美遙里
川上原鷹川田澤井中原島
市三榊大小内平田千中原

琴織太月首彩依唯也希子
美伊聡佑紫愛真碧恭朋奈
日暮澤川川久下田田野
森朝日野田森松増藤草

平圓衣斗心朗斗らた香太
俊優優梨一結ゆな晴良
名波藤園井田山山山永野
椎江齋御石戸亀内丸池河

2 学 年

輔理帆華惟昇花芽
寛優菜一 彩優
村部森本崎浅寺沼
中渡高坂篠岩宮大

乃寧太加寿大空花た生菜
暖由倫安翔珀歩な龍結
川那 田井井田澤田本
谷藤越 長近村星吉藤大中菊吉杉

介亜佑基介紗平花郎真陽
瑛悠涼瑠之知恭和一行
口木本上箸野坂谷藤田
水鈴林村飯大保天田佐森

菜成心奈太緒空一叶莉楓
淳児 真奏理玲陽幸愛七
竹本川林邊井藤子柳谷石
大宮笹小渡今伊稻高長高

3 学 年

衣奈那人謙大菜ん
結愛衣綾光幹柑お
井野原瀬寺田胡田
浅水菅成木松大平

華人菜結肇朗平帆葵菜人歩
舞悠里友 太淳美 陽慶花
川綿本野川林松名山根岡井
小石岸吉今小小椎杉関西平

里介緒翔朗晴奈羽羅良真乃
樹倉真春恵千柑緒姫咲春彩
村岡岡瀬井保宮崎名川原田
植山高若宇久本宮椎武蛭藤

乃央那捺め子奈成依之紀希
莉鈴玲結ゆ依桜咲芽緑友明
藤山岸井嶋真本藤尾口山神
齋高山今長長松伊押山横尾

4 学 年

芽音葵妃瑠絢色子
優海千咲花 音悠
里島林井田岡崎田
五大小永内貞尾竹

華乃莉久大音世那愛拳丈
凜菜来瑠高風千紗裕
川川木柳木谷木町口田野
小横鈴青鈴大鈴古水吉岡

子菜響莉希月花衣恵音子
優愛 妃佳美風結 凜桃
邊野本藤波田田田橋藤本
渡松山佐藤若多浜石加山

菜宇瑠郎海聖か人子叶介
柑陽海史美美い健佑悠駿
川山原川川田山口田尾竹井
宮袖大越柳土山吉松大坂

5 学 年

な琉未穂人大子香子
な絵希華優楓莉乃香
河藤西野阿藤安平安
野藤西野阿藤安平安

音光翔楓楓央門瑠杏凜代奈
明悠連 弓李礼光瑠知紗柚
代藤井巻下寄橋野宅藤上澤
苗佐今藤山杉大狩三近井平

月遠空乃来彩星穂音大る天
珠久美理日瑠一莉侑は結
心保 本田島久藤井井杉木田井野
山原中大齋石石金松芝石石

大尊乃柚都楓真慶奈結優夏
幸美羅有歩 一真愛実光小
倉藤村野保藤木山倉田野根
板齋中吉新加秋小岡平中

6 学 年

ろ月緒人悠斗太加
ひ優和緑 優啓彩
西口塚子崎川村邊
川山西金若櫻三山

遼月稀太香奈編ら碧五志衣
美大悠々結 さ 健大芽
田藤山部島木巻井馬内米田
岡工横阿野鈴金金相山古小

愛歩哲太人亜麦彩長祐馬也
芽花一 颯彩輝細愛嶺之斗連
琉 取藤本田倉駒澤瀬尾小森塚藤
香香坂岸朝小金廣竹小篠伊

マリーヤ/奈己那佳愛之也響希一
マーリヤ/奈己那佳愛之也響希一
ヒマデ/澤留野元久内川村松尾
見布真秋佐鹿市中石深

1 学 年

齊藤 音羽

結つ首空珠
美ゆ百未夕
藤見田林川
加逸内小藤

美瑚向稀里
夏琳陽瑞優
部道田栗村
渡高増石中

輝南都叶結
青星奈夢
澤田本田込
枝多杉山苺

2 学 年

月美恵優向希
深泉千美陽咲
紀佐廣村今倉

優夏月和弓咲泉り太海
美帆優咲紗望瑠の莞七
葉井井山田島見口藤
洞千新川影寺矢圭関加

羽音葵衣乃帆邑夢希音
美天明麻耀菜梨来珠琴
岡藤崎藤木内島藤上潮
富安植遠才山長佐井潮

悠希美佳太也な
瑠愛乃天力ひ
畑所崎 穂 原井野
岩間福森福吉星

3 学 年

岸本 伶奈

香緒李瑩花
后美柚時木
田芝藤 川原
遠小佐董中

望香博奈帆
優一幸香
葉田輪原後
千津雲石城

子稀
菜々友
田代櫻井

千葉県緑化推進委員会では主に次の事業を行っています

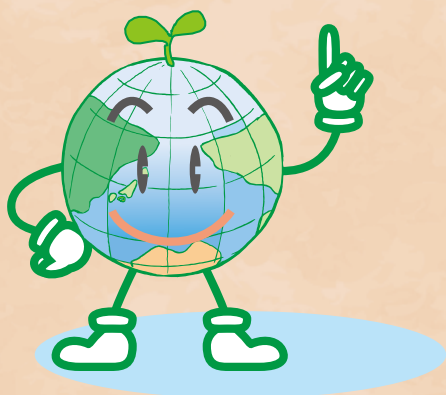
緑を広める

- 緑の募金運動
- 緑化広報誌グリーンえっせんすの発行
- 緑の教室、自然に親しむ活動の開催
- 樹木名ラベル取付運動
- 緑化運動ポスター原画コンクール など

緑をふやす

- わたしの街みどりづくり事業
(緑の募金による市町村緑化事業)
- 公共施設等の環境緑化事業
- 市民苗木配布会の開催
- 千葉県さくらの会の業務 など

あなたも
「緑の地球」を
支える一人です



緑の担い手育成

- みどりの少年団の育成
- みどりのサポーターの育成
- 森林整備ボランティアの活動支援
- 林業労働力確保支援センターの業務 など

緑の基盤整備

- 治山・林道など公共事業の要望活動
- 森林・林業技術講習会の開催
- 治山・林道工事コンクールの実施
- 案内板等設置や参考図書等の配布による普及啓発 など



表紙の作品

令和2年度国土緑化運動ポスター原画コンクール、小学校・高学年の部において、千葉県教育長賞を受賞した、6学年 小林正知さんの作品です。

発行

公益社団法人 千葉県緑化推進委員会
<http://www.c-green.or.jp>

〒299-0265 袖ヶ浦市長浦拓2号580-148
Tel 0438-60-1521 Fax 0438-60-1522



国土緑化運動ポスター原画コンクールは緑の募金を活用して実施しました。

この入賞作品集は千葉信用金庫の協賛により作成しました。